

「ほっとルーム」だより



第111号 平成29年11月1日発行
いちき串木野市家庭教育支援連絡協議会
(教育委員会 社会教育課内 TEL 21-5130)

生福保育所・串木野保育園で、「ほっとルーム」
の出前サロン「おあしす」を開設します。
12月には 市来小 で「おあしす」を開設します。



生福保育所、串木野保育園で、「おあしす」を開設します。子どもさんをお迎えの際に、保護者の皆さま、どうぞお立ち寄りください。

12月には、市来小学校で「おあしす」を開設します。お気軽にお立ち寄りください。お待ちしております。

生福保育所

○日時
11月13日(月)
(午後4時30分
～5時30分)
○場所
さくら組

串木野保育園

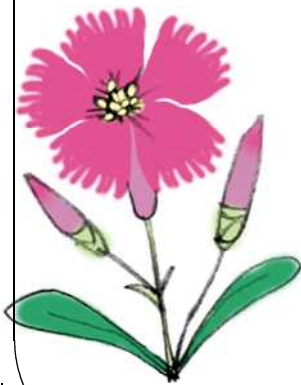
○日時
11月20日(月)
(午後4時30分
～5時30分)
○場所
浄寶寺 和室

市来小学校

○日時
12月8日(金)
(午後1時30分
～4時)
○場所
3階相談室

家庭教育について提言をいただきました。

モン・シェリー松下株式会社 代表取締役 松下明弘



今や子ども達も、30代前半が2人と20代半ば1人の3名。

振り返ると幼児期から中学校を卒業するまで、あいさつは「一番の躰」と言い続けてきました。そして、反抗期。小学校までは、良くしゃべるし、手を引いたりしていたのに、親子の対話すら少なくなってきました。それでも、子ども達は、「おはよう」「おやすみ」「ありがとう」等々、毎日、言っていました。どういう状態であれ、長年の躰があたり前になっていました。途中、母親が入院。家は子ども達と父親だけで、その時、反抗期でありながらも、子ども達が家庭と親を思う気持ちは持っていたようです。今となれば、親子して笑い話になっています。

子育ての中で、気になること等があったら、一人で悩まず、いつでも気軽に、ご相談ください。一緒に語りましょう。

ほっとルーム： 教育委員会 社会教育課内
TEL:21-5130 FAX:36-5044

※ ご希望があれば、長子に限らず、**どの学年でも**訪問いたします。

集いの場は子育て情報交換の場にも！

「家庭教育」について学習しました。 ～生福小学校家庭教育学級～



生福小学校家庭教育学級「たちばな学級」は、9月12日(火)に、生福小学校の校長先生を講師にお招きして、家庭教育の在り方について学習しました。

先生が出会われた子とその親から学んだことを中心に話をされました。

- ・親が余り手を出さない。
- ・成功体験を褒める。
- ・何度も言うより、何度もしてみせなさい。
- ・我が子を信じて見放さない。

子育てや子どもへの接し方等のお話は、具体的な事例で、とても分かりやすく、参加したお母さんたちは、熱心に聞き入っていました。

参加したお母さんの声 ➡ 校長先生の話聞くのを楽しみにしていました。お話を聞いて、とても感動しました。良かったです。やはり、我が子との生活、触れあいを大事にしたいと思いました。

各学校には、保護者を中心に構成された、読み聞かせグループがあります。メンバーが集まると、読み聞かせの話題だけでなく、子育ての情報交換の場にもなっているようです。

「お話カンガルー」(川上小学校)

川上小学校の読み聞かせグループ「お話カンガルー」は毎月1回、読み聞かせをしています。

10月12日(木)の朝は、校内読書週間にあわせ、大型絵本「もりのかくれんぼ」の読み聞かせでした。図書館に集まった全校児童は、どの子どもも真剣に聞き入り、お話の世界に浸っていました。



会員の声 ➡ ○子どもたちが熱心に聞いてくれるのでうれしい。
○本を選ぶのも楽しみの一つです。

本は心の扉を開く

「読書は心の栄養」など、読書の大切さが叫ばれています。市の社会教育課でも、6ヶ月健診時に「ブックスタート」として、3歳児健診時に「セカンドブック」として、親子読書のすすめや、市の図書館の利用案内や移動図書館の日程、絵本を手提げ袋に入れて贈ります。

10月の6ヶ月健診時には、大型絵本「だるまさんが」の読み聞かせを行いました。

成長した子どもさんが、贈られた手提げ袋をもって図書館に来ることもあるようです。ご家庭でも、子どもさんと話し合っ
て、テレビゲームをお休みさせ、親子で一緒に読書したり、読み聞かせをしてあげるなど、子どもが本に親しむ環境を作ってみてはいかがでしょうか。



ブックスタート